



2026/3期 3Q 決算補足説明資料

2026年1月23日
株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

国内経済及び業界動向

- 米国政策動向や物価上昇等による景気下振れリスクはあったものの、生成AIやクラウドサービス、DX関連投資拡大など引き続き投資需要が拡大し、季節需要の増加も景気を押し上げ国内経済は緩やかに回復。

当社の特徴と3Q業績

- 連結効果もあり、売上高、売上総利益、経常利益、当期純利益は1Qの落込みをカバーして前年同期比プラスに転じたほか3Qの売上高・売上総利益、営業利益、経常利益は四半期での過去最高を更新。
- 今期は主力である銀行分野の大型案件の端境期による受注減少が大きかったものの、保険分野の拡大、M&Aによる規模拡大を図った効果もあり、前年同期に比し売上高は8.5%増加。全サービスラインで前年同期比伸長。
- 前期に引き続き、IT人材の確保に向けた積極的な採用や、生成AIをはじめとするDX人材育成、R&D強化への取組みを推進。これらの将来の成長に向けた先行投資により販管費が大きく増加し、営業利益を圧迫。
- グリーンキャット社を5月に完全子会社化し2Qより連結を開始。3Qまでに5~9月の5か月分の業績を反映。(4Qにも3か月分が計上され、通期で8か月分が計上される)

中期経営計画に沿った施策を着実に実施

4月:人員増強(新卒採用を拡大継続)、R&D・業務提携(AIを搭載した医療系パッケージソフト開発・販売開始)

5月:M&A(2024年のヒューマン&テクノロジー社に続きグリーンキャット社を完全子会社化)

7月:R&D・業務提携(大阪大学との協創検討開始)

10月:AIリテラシー強化(AI社内教育加速、AI資格取得奨励)

1月:AX推進室を新設しAIトランスフォーメーションへの取組みを強化

(AXラボを設置しAIエージェント開発による社内業務効率化、顧客POC提案を加速)

- 主力である銀行分野の大型案件の端境期による受注減少が大きかったものの、保険分野の拡大、M&Aにより規模拡大を図った効果もあり、前年同期に比し**売上高は8.5%増加**。加えて**売上総利益、経常利益、当期純利益も前年同期を上回った**。
- IT人材の確保に向けた積極な採用、教育の強化など先行投資により販管費が大きく増加し、営業利益を圧迫。

(百万円)	2025/3期		2026/3期				
	3Q累計	通期	3Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	5,676	7,684	6,161	+484	+8.5%	9,400	65.5%
売上総利益	1,068	1,448	1,165	+96	+9.0%	1,825	63.8%
粗利益率	18.8%	18.9%	18.9%	+0.1pp	-	19.4%	-
販管費	646	886	750	+103	+16.0%	1,105	67.9%
営業利益	422	562	415	△7	△1.7%	720	57.7%
営業利益率	7.4%	7.3%	6.7%	△0.7pp	-	7.7%	-
経常利益	450	611	461	+11	+2.6%	767	60.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	348	485	378	+30	+8.8%	590	64.2%
EPS	151.2円	210.6円	163.7円	+12.5円	+8.3%	254.3円	64.4%

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、2Qから連結業績に含まれ、3Q累計では5か月分が反映されている。(通期では8か月分)

- 四半期ごとに順調に売上、利益を伸長し、売上総利益率は四半期ベースで初めて20%を超えた。
- 3Qは売上高、売上総利益、営業利益、経常利益で四半期での過去最高額を更新。

(百万円)	2025/3期				2026/3期				前年3Q比	前四半期比 (2Q比)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q			
売上高	1,826	1,927	1,922	2,007	1,753	2,146	2,261	+17.6%	+5.4%	
売上総利益	352	362	354	379	318	392	454	+28.1%	+15.6%	
粗利益率	19.2%	18.8%	18.4%	18.9%	18.2%	18.3%	20.1%	-	-	
販管費	279	176	191	239	279	218	252	+31.9%	+15.4%	
営業利益	72	186	163	140	39	174	201	+23.8%	+15.9%	
営業利益率	4.0%	9.7%	8.5%	7.0%	2.2%	8.1%	8.9%	-	-	
経常利益	82	191	175	161	51	179	230	+31.6%	+28.6%	
親会社株主に帰属する当期純利益	92	132	123	136	66	146	166	+34.6%	+13.3%	

※グリーンキャット社(12月決算)のM&Aによる株式取得は5月、第2四半期は2か月分、第3四半期は3か月分が反映されている。(通期では8か月分)

配当金での株主還元が柱

- 2026年3月期は20円増配し年間100円と上場以降3期連続増配を計画。配当性向は、39.3%へ上昇。
- 早期に配当性向40%以上へ引上げ、業績や財務状況、投資計画の状況を考慮し、更に利益を還元していく方針。

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期(計画)		
				中間	期末	年間
一株当たり配当額	50円	70円 (30円)	80円 (40円)	50円	50円	100円
うち、記念配	—	10円 (5円)	—	—	—	—
EPS	239.5円	193.0円	210.6円	—	—	254.3円
配当性向	20.9%	36.3%	38.0%	—	—	39.3%

※2024/3期、2025/3期の下段括弧は中間配当金額を内書き

- 今期の売上高は、地銀向け大型案件の延期等により金融事業が落込む一方、他の事業部門が伸長し、全体では若干の減少。
- 定昇・ベア等による人件費増加に加え、生成AIをはじめとしたDX人材教育・育成、R&Dの拡大に注力したため販管費は8.6%増加となり、営業利益・経常利益を圧迫。
- 政策保有株式の縮減方針に沿った投資有価証券の売却により、純利益の継続的な押上げが可能な体制を確立。

(百万円)	2025/3期		2026/3期				
	3Q累計	通期	3Q累計実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	5,473	7,418	5,407	△65	△1.2%	8,030	67.3%
金融	2,302	3,052	2,045	△257	△11.2%	3,258	62.8%
産業流通	1,456	2,042	1,513	+56	+3.9%	2,271	66.7%
社会公共	1,272	1,722	1,359	+86	+6.8%	1,843	73.7%
ITイノベーション	441	601	489	+48	+11.0%	656	74.6%
売上総利益	1,012	1,374	1,003	△9	△0.9%	1,525	65.8%
粗利益率	18.5%	18.5%	18.6%	+0.1pp	—	19.0%	—
販管費	571	749	620	+49	+8.6%	825	75.2%
営業利益	441	625	382	△58	△13.2%	700	54.7%
営業利益率	8.1%	8.4%	7.1%	△1.0pp	—	8.7%	—
経常利益	467	673	430	△37	△8.0%	750	57.4%
当期純利益	371	555	376	+5	+1.4%	611	61.6%

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社オービーシステム 東京本社IR担当
TEL:03-3471-9877(代表)
E-mail:ir@obs.co.jp
